

福島県の図書館を考えるシンポジウム



福島県では東日本大震災に加え、原発事故による甚大な被害を受けました。生活の場や生きる糧を奪われ、県外に避難した人は数万人にのぼります。避難区域に指定された地域には、市民に親しまれ、地域文化を支えてきた図書館が複数ありました。震災時、原発事故後、それらの地域の図書館では何がおこり、何がなされたのでしょうか。当時、避難区域にある図書館で働いていた司書の多くは、今、自治体職員として地元からも図書館からも離れた場所で自治体住民のために力を尽くしています。現在も避難区域となっている図書館で、司書として図書館活動に尽力されていた方々から、当時と現在の状況についての報告をいただき、これから、私たちが避難区域の図書館のために何ができるか考える機会としたいと思います。

主催：社団法人日本図書館協会 共催：福島県公共図書館協会

日時：2012年11月10日（土）10時30分～16時30分（予定）

会場：福島県立図書館 講堂 福島市森合字西養山1番地

プログラム：

午前の部 講演「東日本大震災と図書館 ―原発との関連で―

講師 松岡 要（前社団法人日本図書館協会事務局長）

午後の部 13時～15時 福島県浜通りの図書館職員4名による報告

報告者 大熊町図書館 風間 真由美 氏

双葉町図書館 北崎 周子 氏

浪江町図書館 屋中 茂夫 氏

富岡町図書館 菅野 佳子 氏

15時～16時 パネルディスカッション

参加対象：どなたでもご参加いただけます（申し込み不要）

参加費：無料

福島県立図書館アクセス

福島交通飯坂線→「美術館図書館前駅」下車（徒歩3分）

福島駅東口9番バス乗り場より、福島交通ももりん2コース→「県立美術館入口」下車（徒歩4分）

問合せ先：社団法人日本図書館協会

東日本大震災対策委員会

〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14

mail: shinsai@jla.or.jp

電話:03-3523-0814

fax:03-3523-0844